

○ 大都市圏の成長を通じた日本の再生

(4) うめきた2期区域・中之島地区・御堂筋周辺のまちづくりの推進

(内閣府・総務省・文部科学省・厚生労働省・経済産業省・国土交通省)

【本市の提案・要望】

(うめきた2期区域における基盤整備の促進及び新産業創出機能の実現)

- 国際競争力の強化に資するJR東海道線支線の地下化及び新駅設置、土地区画整理事業、防災機能を有する都市公園整備を円滑に進めるための財源確保、公共性の高い新駅設置に対する地方負担額への起債充当
- 新産業創出機能の実現に向けた研究開発プロジェクトへの国の財政支援や推進活動への支援及び国のイノベーション支援機関の関西における機能拡充

(中之島4丁目における未来医療国際拠点の形成)

- 中之島4丁目の未来医療国際拠点の形成を推進するための支援制度の充実

(御堂筋の空間再編)

- 大阪のシンボルストリート・御堂筋の空間再編による都心部の価値向上や持続的なまちづくりを促進するための関係法令の整備

【現状・課題】

(うめきた2期区域における基盤整備事業の促進及び新産業創出機能の実現)

- うめきた地区では、国際競争力を高め、世界の都市をリードするまちづくりを実現するため、JR東海道線支線の地下化や関西国際空港と直結する新駅設置、土地区画整理事業、防災機能を有する都市公園整備といった基盤整備を実施しており、2023年春の新駅開業及び2027年春の基盤整備完成をめざし、基盤整備事業が遅れることがないよう、事業費を着実に確保する必要がある。
- そのため、国際競争拠点都市整備事業及び防災公園街区整備事業に係る必要な財源の確保とともに、鉄道事業者が設置する新駅のうち、都市再生に資する公共性が高いものについては、地方公共団体以外の財産でも、補助金に係る地方負担額への起債充当が可能となるよう、制度拡充が必要である。
- また、2018年7月には民間開発事業者が決定し、まちづくりの目標である「みどりとイノベーションの融合拠点」の実現に向け、経済界や行政、民間開発事業者等で構成する協議会において新産業創出機能の実現に向けた活動を実施しているところであり、先駆けて取り組む研究開発プロジェクトへの国の財政支援や協議会活動への国の支援が必要である。
- 研究開発から事業化に至るまでの支援措置を総合的に活用できる仕組みを構築するため、ファンディングエージェンシー（研究資金を配分する機関）など、イノベーション創出を支援する国の機関の関西における機能拡充が必要である。

(中之島4丁目における未来医療国際拠点の形成)

- 中之島4丁目地区においては、大阪府・市、経済界等との連携のもと、再生医療をはじめとする最先端の「未来医療」の産業化と、その提供による国際貢献を推進する未来医療国際拠点の形成を進めており、その実現に向けた支援が必要である。

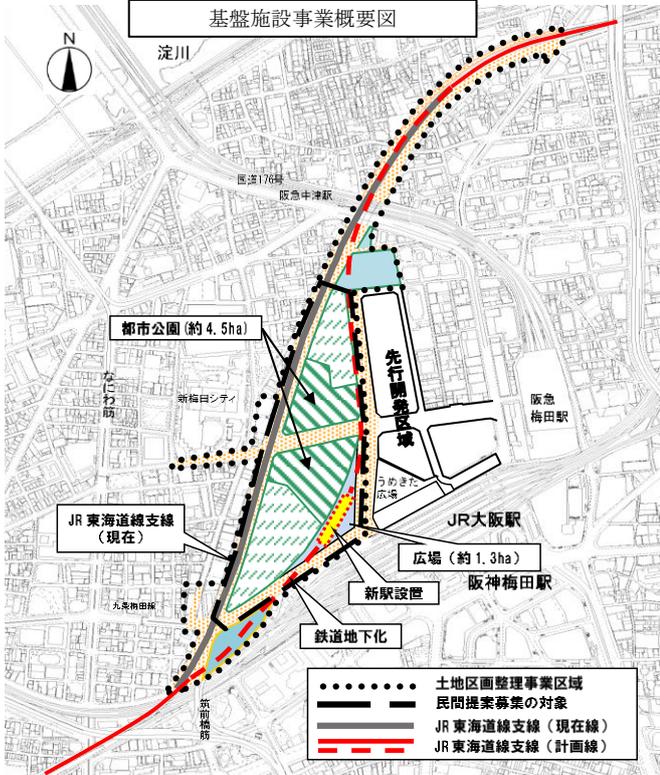
(御堂筋の空間再編)

- 激化する都市間競争を勝ち抜くため、都市の活性化や都心部の価値向上を促進する都市構造のリノベーションが求められている。高いポテンシャルを持つ御堂筋は、人中心のストリートへ空間再編することを契機として都市構造のリノベーションを促すことが可能であり、地方活力強化のモデルとなるためにも公民連携によりスピード感をもった整備や持続的なまちづくりが必要となっている。

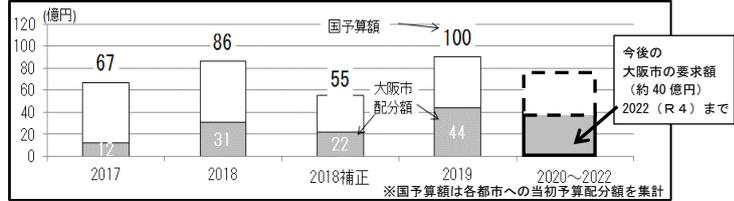
○ 人中心のストリートを実現すべく、これまでの通行機能に加え、憩いや賑わい機能など、多様な人々が交流できる空間を生み出すことができるよう、道路関係法令の整備が必要である。

担当：都市計画局・建設局・都市整備局・経済戦略局

○うめきた2期区域

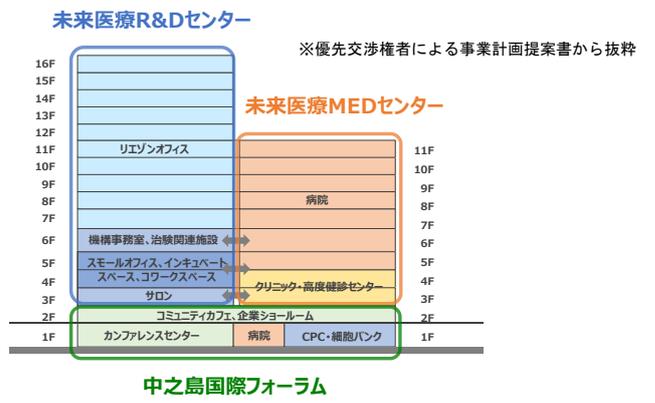
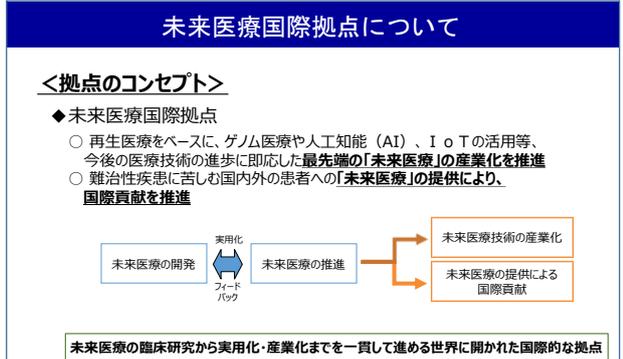


資料：うめきた2期開発事業者の提案内容を本市が編集



国際競争拠点都市整備事業（公共施設整備型）予算の推移（国費ベース）

○中之島4丁目地区



○御堂筋周辺

＜空間再編（側道歩行者空間化）のイメージ＞



大阪の顔にふさわしい御堂筋へと空間再編し、みちからまちを変えていく

憩いや賑わい機能など多様な人々が交流できる空間を実現